



思考力の九九

家で覚える

夏期講習の暗誦は、ずいぶんはかどりました。なぜかという、課題の一つ一つが短いからです。1日の授業内で、1枚の課題を覚えきれてしまうのです。

しかし1枚の課題が長いものになると、1日では覚えきれません。家で何もしないと、前回の授業で覚えたものも忘れてしまい、それを覚え直すことからスタートです。

かつては暗誦課題を家でも覚えてきて、暗誦の時間になるやいなや、教師のもとに来て、家で覚えてきたものを聞かせてくれる子がいたのですが、そういった子は最近では皆無です。

暗誦課題は、一般常識として知っているべきものが中心です。保護者の方も、暗誦にチャレンジしてみませんか。お子さんと家で競争などしていただくと、我々もうれしいです。

がんばりました！

名文暗誦 (夏期講習の課題：近現代文学冒頭)

- 15枚 ○○○ ○ ○○ ○○ ○○ ○○
- 13枚 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○
- 12枚 ○○ ○○ ○○ ○○
- 11枚 ○○ ○○ 10枚 ○○ ○ ○○ ○○
- 9枚 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○○ ○○
- 8枚 ○○ ○○ ○○ ○○
- 7枚 ○○ ○○ ○○ ○○



形勢逆転

小学生の思考力の九九の授業内で実施している百マス計算は、中学生の数学の時間内にも行っています。四則すべてで1分30秒を切った者は、発展百マス計算(2ケタおよびあまりのあるわり算)に挑戦するのも、小学生と同様です。

最近の生徒は計算が遅く、中学生になっても発展にチャレンジできない者が多数派です。百マス計算の時間、多数派の彼らは発展にチャレンジする少数派を見て、あんな面倒くさそうなものをやらされなくてよかったという顔つきです。何が計算の速い者たちが肩身の狭い思いをしているようで、あまり良い雰囲気ではありません。

しかし百マス計算は、普通に続けていれば、たいていの生徒は速く正確にできるようになります。月日を重ねるごとに、一人また一人と発展への挑戦権を獲得し、いつの間にか、発展へ挑戦する生徒がクラスの多数派になります。こうなると完全に形勢逆転です。発展に挑戦する者たちが、まだ発展への挑戦権を獲得していない者たちに、「あれ、まだ発展じゃないの」などと言い、今度は計算に時間のかかる者たちが、肩身の狭い思いをする羽目に陥っています。

計算は速く正確にできて損をすることはありません。普段百マス計算にのんびりと取り組んでいる人は、肩身の狭い思いをする前に、取り組みを改めた方がよさそうですよ。



統一テスト成績上位者

\*9年生(中3)

英語	数学	国語
1位 ○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○○○
2位 ○○ ○○	2位 00000・0 00	2位 ○ ○○
社会	理科	
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	
2位 ○ ○○	2位 ○○ ○○	

\*8年生(中2)

英語	数学	国語
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○
2位 ○○ ○○	2位 ○○ ○○	2位 ○○ ○○
3位 0000・0000	3位 ○○ ○○	3位 0000・0000
社会	理科	
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	
1位 ○○ ○○	2位 ○○ ○○	
3位 ○○ ○○	3位 ○○ ○○	

\*7年生(中1)

英語	数学	国語
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○
2位 ○○○○	2位 ○○○○	2位 ○○○○
社会	理科	<実施日>
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	9年生 8/29(木)
2位 ○○ ○○	2位 ○○ ○○	7・8年生 8/31(土)

本を読まない人 6割

文化庁が17日に公表した2023年度の「国語に関する世論調査」で、月に本を1冊も読まない人が6割に上り、初めて5割を超えました。読書量が減少した人に尋ねた理由は、「スマホやタブレットに時間がとられる」が「仕事や勉強で多忙」を上回り、初めてトップになりました。

SNSのショート動画や短文でのメッセージのやり取りが普及し、長文を読むことができなくなっているのではないかと述べる専門家もいます。また、5月号でもお伝えしましたが、スマホ等を使用しているときは、脳がリラックスした状態で「思考の脳」が働いていません。

文明の発達により人間は様々な場面でラクができるようになりましたが、脳にまでラクをさせっ放しでよいのでしょうか。

テストの珍解答

- 問1 細胞分裂のときに、細胞の中に見えるひも状のものを何というか。 [ ひも ]  
こいつ、舐めてるな！(正解：染色体)
- 問2 細胞分裂の前に、それぞれの染色体と同じものがつくられることを何というか。 [ 福田 ]  
福田って、だれ？(正解：複製)

